

## 路面清掃C 作業中の車両故障(損傷)事象について

【発生日時】 令和5年 6月 21日 11時38分頃

【区間・位置】 東海北陸自動車道 上り線 ひるがの高原SA

【作業内容】 東海北陸自動車道 ■■■管内維持修繕業務

【受注者】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【事象概要】 路面清掃Cの作業の為、路肩移動作業中に落下物(鉄の棒)をタイヤで踏んだ弾みで燃料タンクにあたり、燃料漏れ(少量)したためレッカーを手配した。車両については、上りひるがの高原SAトレーラー駐車場に駐車し、車両周辺から燃料の臭気があったため、車両点検をしたところ燃料タンクの損傷に気が付いたもの。

【被害状況】 物的被害(当方) あり (ダブルピックの燃料タンク損傷)

人的被害:(当方) なし

【時系列】 11:38頃 車両の損傷に気がつき、現場責任者よりメンテ事務所に第1報連絡。

11:45 ■■■HSC 保全計画課に上記事象概要を説明し、レッカー移動させる旨を報告。

11:50 メンテ本社にも同様の内容を報告。

13:00 レッカー手配完了。(保険会社を通じ)詳細のレッカー到着時間は、レッカー会社より再度連絡あり。

13:30 レッカー会社より14:10分頃 上りひるがの高原SAに到着予定との連絡あり。

13:30 同時刻、車両停止している車両下に油が少量漏れているため、油処理班メンテ事務所出発。

14:10 レッカー及び油処理班現地到着、作業開始。

14:40 レッカー現地離脱。(現地より修理工場の新興自動車までレッカーすること)

14:45 油漏れ処理終了 現場離脱。

【公表・非公表】 ー

【報道等】 ー

【原因】 ー

【対策】 ー

位置図



車両損傷状況



損傷した車両



損傷状況



仮対応状況



落下物(鉄の棒)  
Φ10mm × 150mm